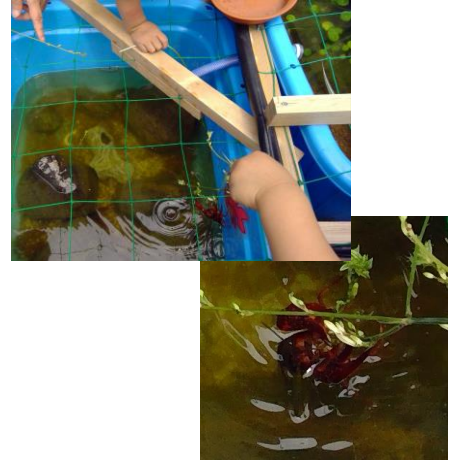




令和6年6月1日
目黒区立ひもんや保育園園長

昨年度、卵から孵ったザリガニが大きく成長し、ピオトープに住んでいます。子どもたちもピオトープの生き物たちが大好きで毎日覗き込んで観察しています。先日、3歳児の子どもたちが「ガニガニ（ザリガニ）釣ってるの」「ガニガニさん、こっち来て」と言いながら、長い草を釣り竿のように垂らしていました。すると巣穴から出てきたザリガニがハサミを振り上げ草を掴みます。「あ、来た」と草の竿を引き上げるとパッと逃げられてしまいました。「あー、行っちゃった」「もう一回」「わたしもやりたい」「どいてよー」と子どもたちも必死です。“自分が”釣りたいので釣り場所争奪戦を繰り広げながらも、誰かがザリガニを引き上げそうになるたびに「もうちょっと」「あー（残念）」と気持ちを共有していました。「〇〇ちゃん、釣れた?」「釣れない」と、まるで釣り人のような会話も聞かれ、傍にいた大人たちも笑ってしまいました。ひとり一人が“自分がやりたい”という意欲がありながらも“友達と一緒に”を楽しんでいる姿を見ていると、私たちが幼い頃こんな風に友達と夢中になって遊んでいたなと懐かしい思い出が蘇ってきました。これからも友達と一緒に自然物に触れ「面白いね」「またやろうね」と感じ合える経験を大切にしたいと思います。そしていつか子どもたちが大きくなった時に、この光景が楽しかった思い出となり、心の糧となってくれることを願っています。



6, 7月の行事予定

- 0歳児クラス懇談会
- おまつりごっこ(全園児)
- プール開き(3~5歳児)
- 七夕会
- 中旬 避難訓練 身体計測

園医検診の予定

- 耳鼻科検診
- 歯科検診
- 眼科検診

金沢動物園に行ってきました ~4, 5歳児春の遠足~

牙が長いね。
マンモスみたい



そうさんの
ウンチ大きいね



テナガザルの鳴き声初めて聞いた！
「ホーウ」「ホーウ」だって



『カンガルーウォーク』
こんなに近くで見れたよ



コアラもいたよ



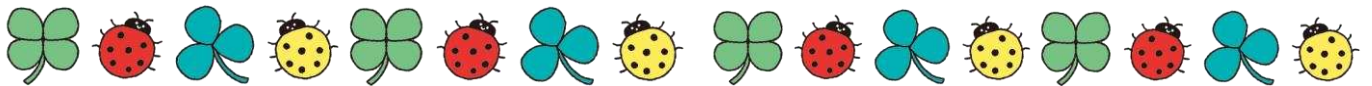


せんせいといっしょ ともだちといっしょ

～0, 1, 2歳児クラスの戸外遊びの様子をお知らせします～

0歳児 つくし組

保育士の歌に誘われ園庭を這い這いしていると小さな石を見つけ手に取りました。顔を近づけてこれは何だろうと不思議そうに見つめています。「小石があったね、つるつるしているね」と声をかけると、一瞬保育士の顔を見ながらも指先で触ったり、握ったりしていました。少し経つと「ん！ん！」と言いながら小石を保育士に差し出してくれました。「どうぞしてくれるのね、ありがとう」と言って石を受け取ると嬉しそうに満面の笑みを見せてくれました。これからも子どもたちの気になるものを一緒に見つけ探索を楽しんでいきます。



1歳児 すずらん組



小さなアリを見つけたと思ったら、ポトッとアリが地面に落ちて砂に紛れてしまいました。子どもたちはしゃがみ込んで「赤ちゃん（のアリさん）いない」と言いながら地面に顔を近づけて探しています。保育士も一緒に探していると、少し大きなアリがいました。それに気付いた子が「パパ来た、パパ来た」と嬉しそうに友達に教えている姿にほっこりしました。子どもたちが発見したものを同じ目線で見たり、触れたりして「何だろう」「おもしろい」など子どもたちが感じていることに共感していきたいと思えます。



2歳児 ちゅうりっぷ組

幼児クラスの子どもたちが縄ブランコをしているのを見せし、保育士に「やりたい」と教えてくれます。すぐに漕ぎ始める子もいますが、そっと縄にお尻をつけて座るだけでも緊張している子もいます。保育士が揺らしてあげると「もう1回」とリクエストしています。何度も揺らしているうちに、少しずつ笑顔に変わり楽しんでいました。徐々に自分でやりたい気持ちが出てくると、保育士の手を止め「自分で」と、つま先でちょんちょんと地面を蹴り、“出来た”と誇らし気です。その後もお兄さんたちがバスマットを縄にくくりつけて遊んでいるのを見ると、同じように真似していました。いろいろな刺激を受けてチャレンジしている子どもたちです。

